
**EV200R シリーズ
プリンタ設定ツール説明書**

目 次

1	プリンタ設定ツール	1
2	インストール方法と起動方法	1
2.1	CD-ROMからのインストール方法と起動方法	1
2.1.1	CD-ROMからプリンタ設定ツールをインストールし起動する場合	1
2.1.2	CD-ROMからプリンタ設定ツール単体で起動する場合	1
2.2	ダウンロードを行ったフォルダからのインストール方法と起動方法	2
2.2.1	ダウンロードを行ったフォルダのプリンタ設定ツールのみをインストールし起動する場合	2
2.2.2	ダウンロードを行ったフォルダのプリンタ設定ツールを起動する場合	2
3	プリンタ設定ツール操作方法	3
3.1	プリンタ設定ツールの起動	3
3.2	プリンタ設定ツール画面	4
3.3	プリンタ設定ツールとプリンタを接続する場合	5
3.3.1	インタフェースがUSBの場合	5
3.3.2	インタフェースがLANの場合	6
3.3.3	インタフェースがRS-232Cの場合	7
3.4	プリンタ設定ツールとプリンタ本体の設定を行う場合	8
3.4.1	プリンタ本体の動作設定を設定する場合	8
3.4.2	プリンタ本体のLANの設定を設定する場合	13
3.4.3	プリンタ本体のRS-232Cの設定を設定する場合	15
3.4.4	プリンタ本体のノンスタンダードの設定を設定する場合	17
3.5	設定ファイルを開きプリンタ設定ツールへ読み込む場合	19
3.6	プリンタ設定ツールの設定をファイルへ保存する場合	20
3.6.1	上書き保存の場合	20
3.6.2	名前をつけて保存の場合	20
3.7	プリンタ設定ツールとプリンタファームウェアバージョンの表示を行う場合	21
3.7.1	プリンタのファームウェアバージョンを表示する場合	21
3.7.2	プリンタ設定ツールのバージョンを表示する場合	21
3.8	プリンタファームウェアのダウンロードを行う場合	22
3.8.1	ファームウェアダウンロード受信間隔設定を行う場合	22
3.8.2	ファームウェアダウンロードを行う場合	23
3.9	ネットワーク設定ツールからLANの設定を行う場合	24
3.9.1	LANの設定を行う場合	24
3.9.2	LANボード初期化	29
3.9.3	rootパスワード設定	31
3.9.4	LANの複数同時設定	33
3.9.5	テスト印字	36
3.9.6	検索時間設定	37
4	注意事項	38

1 プリンタ設定ツール

「プリンタ設定ツール」は、EV200R シリーズプリンタの動作設定をプリンタに記憶させ、プリンタから設定情報を取得するソフトウェアです。

※本説明書の画面画像は特に断りが無い限り、EV208R の画面画像を使用しております。

2 インストール方法と起動方法

プリンタ設定ツールを起動する方法について説明いたします。USB 以外のインタフェースではプリンタドライバをインストールすることにより、プリンタ設定ツールも同時にインストールされます。プリンタドライバおよびプリンタ設定ツールのインストールは必須ではありませんので、直接起動していただいてもかまいません。

CD-ROM からのインストール方法と起動方法は 2.1 の説明を参照してください。

ダウンロードを行ったフォルダからのインストール方法と起動方法は 2.2 を参照してください。

2.1 CD-ROM からのインストール方法と起動方法

2.1.1 CD-ROM からプリンタ設定ツールをインストールし起動する場合

- (1) 「MainMenu.exe」を起動し、「MENU」にて「エヴィ プリンタ」を選択し「次へ」をクリックします。
- (2) 「ユーティリティ」をクリックします。
- (3) 「EV208R/212R プリンタ設定ツール」を選択し、「インストール」をクリックします。
- (4) 「インストール」を選択し、「次へ」をクリックします。
- (5) 「プリンタ設定ツールをインストール」にチェックし、「OK」をクリックします。
- (6) 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SATO EV ユーティリティソフト」-「プリンタ設定ツール」から起動します。

2.1.2 CD-ROM からプリンタ設定ツール単体で起動する場合

- (1) 「MainMenu.exe」を起動し、「MENU」にて「エヴィ プリンタ」を選択し「次へ」をクリックします。
- (2) 「ユーティリティ」をクリックします。
- (3) 「EV208R/212R プリンタ設定ツール」を選択し、「起動」をクリックします。

プリンタ設定ツール

2.2 ダウンロードを行ったフォルダからのインストール方法と起動方法

2.2.1 ダウンロードを行ったフォルダのプリンタ設定ツールのみをインストールし起動する場合

- (1) Windows x86 版では「AppInst_EV200R_x86.exe」を起動し、「インストール」を選択し、「次へ」をクリックします。Windows x64 版では「AppInst_EV200R_x64.exe」になります。
- (2) 「プリンタ設定ツールをインストール」にチェックし、「OK」をクリックします。
- (3) 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SATO EV ユーティリティソフト」-「プリンタ設定ツール」から起動します。

2.2.2 ダウンロードを行ったフォルダのプリンタ設定ツールを起動する場合

- (1) Windows x86 版ではインストーラー内フォルダの「EV200R¥Driver¥PrtSetTool_EV200R.exe」をクリックすると起動します。
Windows x64 版では、「EV200R¥Driver64¥PrtSetTool_EV200R.exe」になります。

3 プリンタ設定ツール操作方法

プリンタ設定ツールの操作方法について説明いたします。

3.1 プリンタ設定ツールの起動

プリンタ設定ツールを起動すると以下のダイアログが表示されます。

ご使用のプリンタがEV208Rの場合は「EV208R」を、EV212Rの場合は「EV212R」を選択し、[次へ]をクリックしてください。

プリンタ設定ツールを終了する場合は「終了」をクリックしてください。

※ご使用のプリンタを確認して機種を間違えないように選択してください。

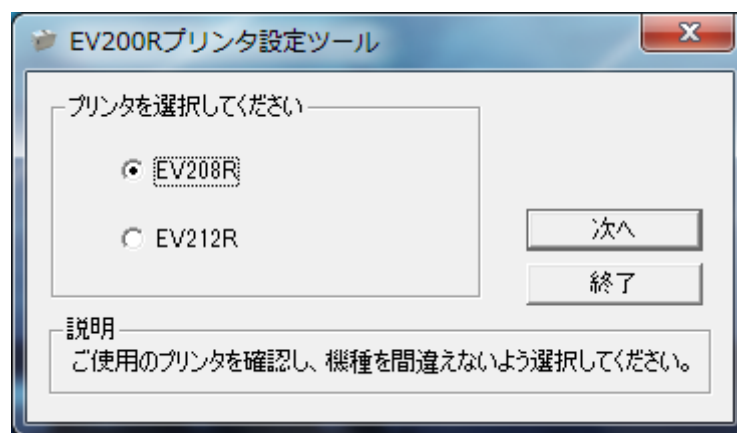


図 3.1 プリンタ選択画面

プリンタ設定ツール

3.2 プリンタ設定ツール画面

プリンタ設定ツール画面が開きます。

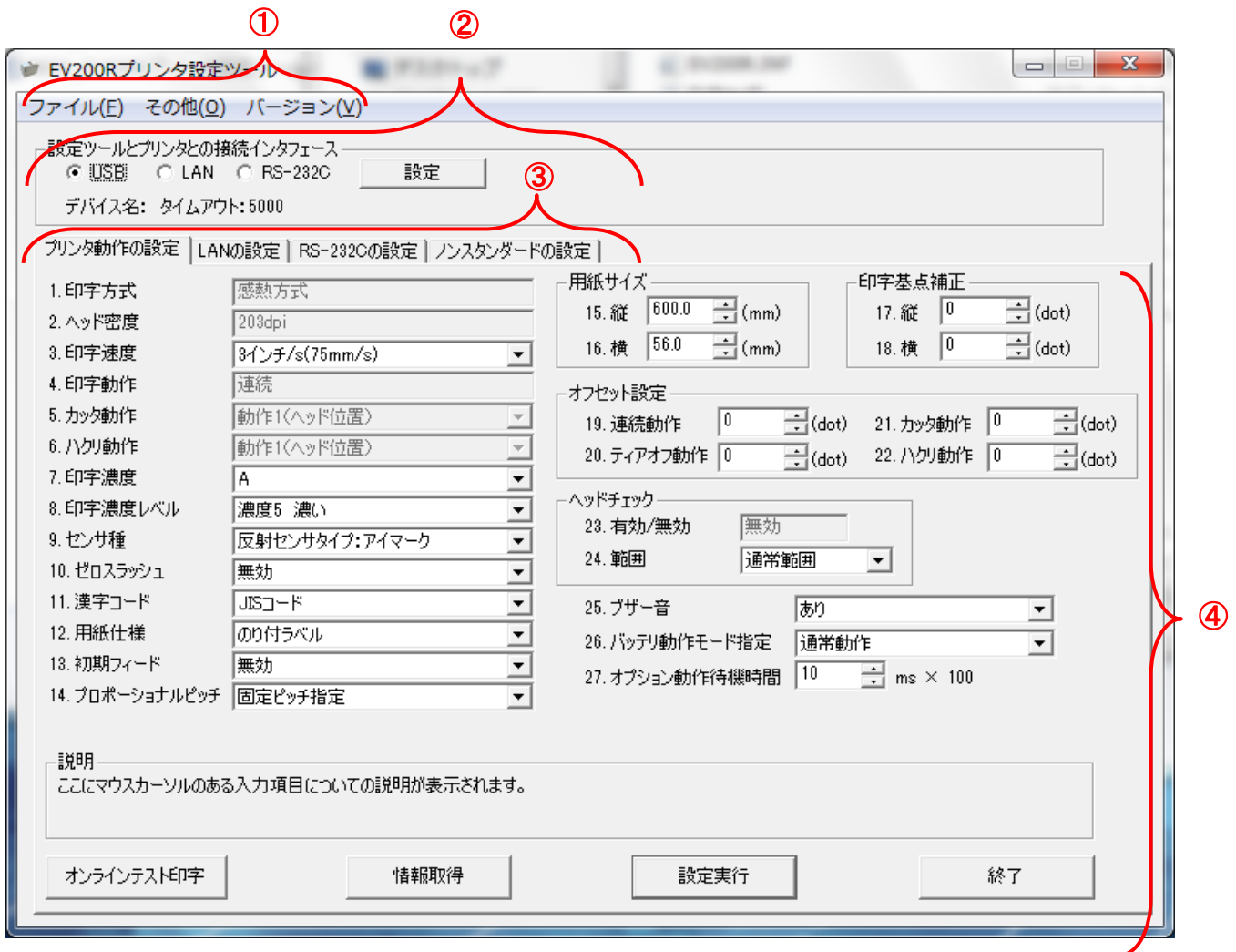


図 3.2 プリンタ設定ツール画面

- ① プリンタ設定ツールのメニューとなります。
- ② プリンタ設定ツールとプリンタとの接続インタフェースの設定を行います。
詳細は 3.3 章を参照してください。
- ③ プリンタの各設定をタブで分類しています。
プリンタ動作の設定は 3.4.1 章を参照してください。
LAN の設定は 3.4.2 章を参照してください。
RS-232C の設定は 3.4.3 章を参照してください。
- ④ ノンスタンダードの設定は 3.4.4 章を参照してください。
各タブに設定項目、情報取得ボタン、設定実行ボタン、終了ボタンが表示されます。
詳細は③の各タブの詳細説明を参照してください。

プリンタ設定ツール

3.3 プリンタ設定ツールとプリンタを接続する場合

図 3.2 ②の「設定ツールとプリンタとの接続インタフェース」の中からプリンタとパソコンを接続しているインタフェースを選択し、「設定」をクリックします。

選択したインタフェース毎の詳細な説明は下記を参照してください。

- (1) USB の場合は 3.3.1 章を参照してください。
- (2) LAN の場合は 3.3.2 章を参照してください。
- (3) RS-232C の場合は 3.3.3 章を参照してください。

3.3.1 インタフェースが USB の場合

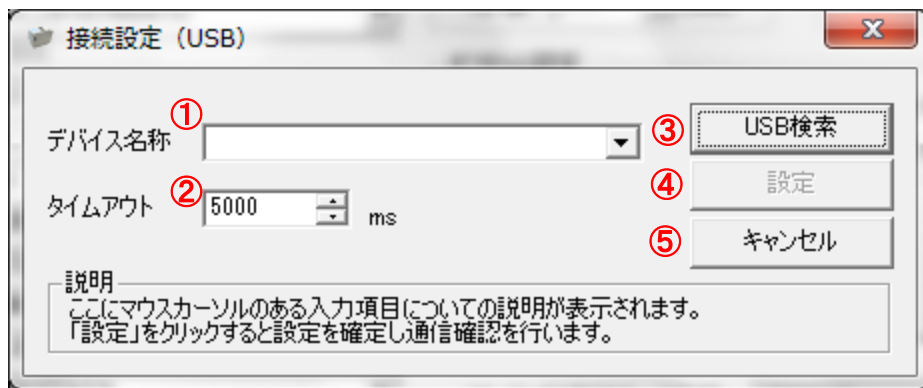


図 3.3.1 接続設定 (USB) 画面

- (1) ③の「USB 検索」をクリックすると、①に通信に使用可能なデバイスドライバが表示されます。
- (2) ④の「設定」をクリックします。「設定」クリック時に通信の確認を行います。その際にノンスタンダードコードの設定について情報を取得します。
- (3) 設定した内容をプリンタ設定ツールに反映させないときは⑤の「キャンセル」をクリックしてください。

※1. 通信の確認が失敗しても設定した接続設定内容はプリンタ設定ツールに反映されます。

※2. ②の「タイムアウト」については通常変更する必要はありません。送受信時のタイムアウトを変更したい場合のみ変更を行ってください。

プリンタ設定ツール

3.3.2 インタフェースが LAN の場合

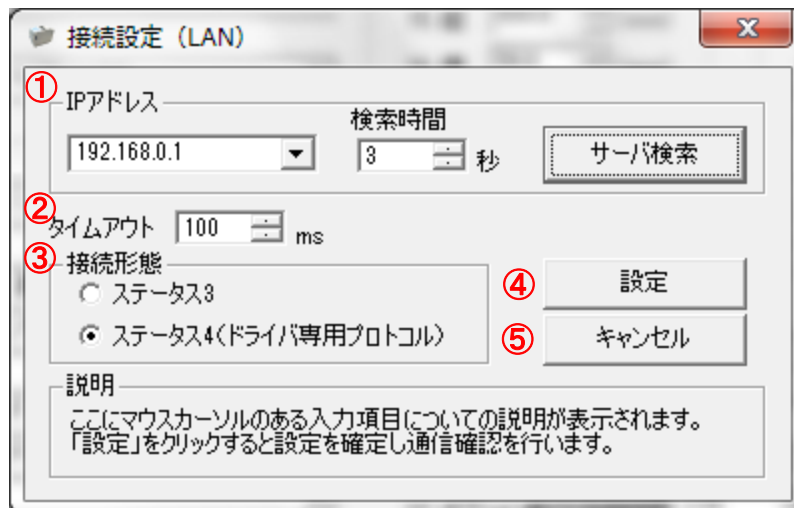


図 3.3.2 接続設定 (LAN) 画面

- (1) ①にプリンタに設定された IP アドレスを設定します。
- (2) プリンタに設定された IP アドレスがわからない場合は、「サーバ検索」をクリックすることで、LANに接続されているプリンタを検索し、一覧に IP アドレスを表示します。
- (3) ③にプリンタの通信プロトコルを設定します。
- (4) 以上の設定が完了したら、④の「設定」をクリックします。「設定」クリック時に通信の確認を行います。その際にノンスタンダードコードの設定について情報を取得します。
- (5) 設定した内容をプリンタ設定ツールに反映させないときは⑤の「キャンセル」をクリックしてください。

- ※1. 通信の確認が失敗しても設定した接続設定内容はプリンタ設定ツールに反映されます。
- ※2. ①の検索時間は「サーバ検索」クリック時に IP アドレスが見つからなかった場合、変更します。秒数を増やすことで検索時間が長くなり IP アドレスが見つかりやすくなります。
- ※3. ②の「タイムアウト」については通常変更する必要はありません。送受信時のタイムアウトを変更したい場合のみ変更を行ってください。
- ※4. プリンタ本体の通信プロトコルが「周期応答モード」の場合、③の「接続形態」にステータス 4 を選択していてもタイミングによって情報取得に失敗することがあります。プリンタ設定ツールをご使用の場合には、プリンタ本体の通信プロトコルを「ステータス 3」または「ENQ 応答モード」に設定ください。

プリンタ設定ツール

3.3.3 インタフェースが RS-232C の場合

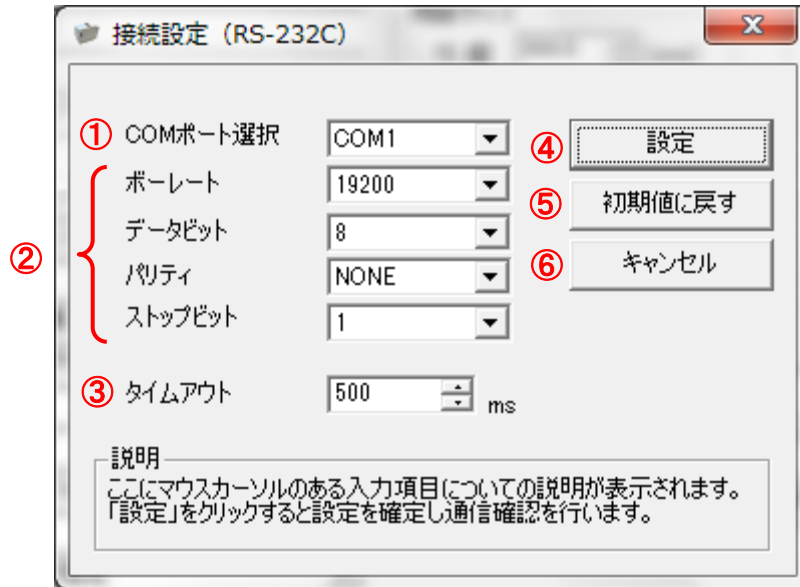


図 3.3.3 接続設定 (RS-232C)

- (1) ①にパソコン側で使用する RS-232C 接続の COM ポート番号を選択します。通常は「COM1」となります。
- (2) ②にプリンタと同じ通信設定(ボーレート、データビット、パリティ、ストップビット)をセットします。初期値は 19200、8、NONE、1 です。
- (3) 以上の設定が完了したら、④の「設定」をクリックします。「設定」クリック時に通信の確認を行います。その際にノンスタンダードコードの設定について情報を取得します。
- (4) 設定項目の表示を初期値に戻したい場合は⑤の「初期値に戻す」をクリックしてください。
- (5) 設定した内容をプリンタ設定ツールに反映させないときは⑥の「キャンセル」をクリックしてください。

※1. 通信の確認が失敗しても設定した接続設定内容はプリンタ設定ツールに反映されます。

※2. ③の「タイムアウト」については通常変更する必要はありません。送受信時のタイムアウトを変更したい場合のみ変更を行ってください。

プリンタ設定ツール

3.4 プリンタ設定ツールとプリンタ本体の設定を行う場合

プリンタ本体へ設定を行うための各タブの設定項目と設定方法を説明いたします。

3.4.1 プリンタ本体の動作設定を設定する場合



図 3.4.1 プリンタ動作の設定画面

- (1) 「プリンタ動作の設定」タブを開きます。
- (2) ③の「情報取得」をクリックし、現在プリンタに設定されている値を取得します。
- (3) ①の画面内の1.～27.の設定項目の値を選択、入力します。
- (4) ④の「設定実行」をクリックすることで、プリンタ本体に①の設定内容を設定します。
- (5) 表示されたメッセージに従いプリンタ本体の電源をOFF/ONします。
- (6) ③の「情報取得」をクリックし、プリンタに設定されている値を取得し、設定した設定内容と相違がないことを確認します。
- (7) ②の「オンラインテスト印字」をクリックすることでプリンタに設定されている値が記載されたラベルが発行されます。
- (8) プリンタ設定ツールを終了する場合は⑤の「終了」をクリックします。

プリンタ設定ツール

1. 印字方式

ラベルに印字を行う方式を表示します。設定することはできません。
範囲：感熱方式、熱転写方式

2. ヘッド密度

選択されているプリンタのヘッド密度を表示します。設定することはできません。
EV208R の範囲：203dpi
EV212R の範囲：305dpi

3. 印字速度

ラベルを発行する際用の紙搬送の速度となります。
印字品質を良くするためには使用されるラベルに合わせて印字速度、印字濃度、印字濃度レベルの設定を変更する必要があります。
EV208R の範囲：2～5 インチ/s
EV212R の範囲：2～4 インチ/s

4. 印字動作

「情報取得」を行った際にプリンタの印字動作を表示し、表示された印字動作に対応した「5. カッタ動作」～「6. ハクリ動作」の設定項目が有効になります。設定することはできません。
範囲：連続、ティアオフ、カッタ、ハクリ

5. カッタ動作

「情報取得」を行った際にプリンタの印字動作がカッタであった場合に有効となります。
範囲：
動作1（ヘッド位置）：ラベルを印字した後にラベルをカットしてヘッド位置までバックフィードを行います。
動作2（カッタ位置）：ラベルを印字する前にラベルをヘッド位置までバックフィードさせてラベル発行を行った後にラベルをカットします。
動作3（バックフィード無し）：バックフィードを行いません。ヘッドからカット位置までの距離については印字できません。

6. ハクリ動作

「情報取得」を行った際にプリンタの印字動作がハクリであった場合に有効となります。
範囲：
動作1（ヘッド位置）：ラベルを印字しラベルをハクリした後にヘッド位置までバックフィードを行います。
動作2（ハクリ位置）：ラベルを印字する前にラベルをヘッド位置までバックフィードさせてラベルの印字を行います。

7. 印字濃度

印字を行う際の濃度を設定します。
範囲：A～B

8. 印字濃度レベル

印字濃度に対する濃度レベルを設定します。印字濃度に対して5段階の調整ができます。
範囲：1～5

プリンタ設定ツール

9. センサ種

用紙の停止位置を判断するためのセンサタイプを設定します。

範囲：反射センサタイプ（アイマークセンサ）、透過センサタイプ（ギャップセンサ）、センサ無視タイプ、透過センサタイプ（リストバンドカス取りなし）

10. ゼロスラッシュ

数字の「0」に「\」（スラッシュ）を付けるか付けないかを設定します。

範囲：無効、有効

11. 漢字コード

プリンタ内部の漢字フォントを印字する際のコードを設定します。

範囲：JIS コード、シフト-JIS コード

12. 用紙仕様

使用する用紙の種類を設定します。

範囲：のり付ラベル、のり無タグ

13. 初期フィード

プリンタの電源を ON にしたときにフィードを行うか行わないかを設定します。初期フィードを「有効」にすることで印字位置誤差を改善することができます。

範囲：無効、有効

14. プロポーショナルピッチ

プリンタ内部フォント「X21～X24」を設定したときに文字毎の文字幅状態で印字するモード（プロポーショナルピッチ指定）、文字フォント幅サイズで印字するモード（固定ピッチ指定）を設定します。

範囲：固定ピッチ指定、プロポーショナルピッチ指定

15. 縦用紙サイズ

使用するラベルの縦サイズを設定します。のり付ラベルの場合はラベルサイズで設定します。

EV208R の範囲：0.1～600.0mm

EV212R の範囲：0.1～400.0mm

16. 横用紙サイズ

使用するラベルの横サイズを設定します。のり付ラベルの場合はラベルサイズで設定します。

範囲：0.1～56.0mm

17. 縦印字基点補正

プリンタの機差により発生する縦の印字誤差を調整するために設定します。ヘッド密度が 203dpi のときは 1mm = 8dot となり、305dpi のときは 1mm = 12dot となります。

範囲：-396～396dot

18. 横印字基点補正

プリンタの機差により発生する横の印字誤差を調整するために設定します。ヘッド密度が 203dpi のときは 1mm = 8dot となり、305dpi のときは 1mm = 12dot となります。

範囲：-396～396dot

19. 連続動作オフセット設定

印字動作が「連続」のときの用紙停止位置を設定します。

範囲：-99～99dot

プリンタ設定ツール

20. ティアオフ動作オフセット設定

印字動作が「ティアオフ」のときの用紙停止位置を設定します。

範囲：-60～99 dot

21. カッタ動作オフセット設定

印字動作が「カッタ」、「ノンセパ」のときの用紙カット位置を設定します。

範囲：-99～99 dot

22. ハクリ動作オフセット設定

印字動作が「ハクリ」のときの用紙ハクリ位置を設定します。

範囲：-99～99 dot

23. ヘッドチェック指定

「情報取得」を行った際にプリンタのヘッドチェック指定を表示します。設定することはできません。

範囲：無効、有効

24. ヘッドチェック範囲指定

ヘッドチェックの範囲を設定します。

範囲：通常範囲、バーコード

25. ブザー音

プリンタエラー時のアラーム音の有無を設定します。

範囲：あり、なし

26. バッテリ動作モード指定

プリンタを通常動作モードかバッテリ動作モードに切替えるための設定をします。

範囲：通常動作、バッテリ動作

27. オプション動作待機時間

ティアオフモード時の印字完了後に待機してティアオフ動作を行う時間及び、印字中カットモード時の印字完了後に待機して印字後カット動作を行う時間を設定します。

範囲：5～200ms x 100

プリンタ設定ツール

表 3. 4. 1 プリンタ動作の設定初期値一覧表

項目	EV208R	EV212R
1. 印字方式	感熱方式	感熱方式
2. ヘッド密度	203dpi	305dpi
3. 印字速度	3 インチ/s (75mm/s)	3 インチ/s (75mm/s)
4. 印字動作	連続	連続
5. カッタ動作	動作 1 (ヘッド位置)	動作 1 (ヘッド位置)
6. ハクリ動作	動作 1 (ヘッド位置)	動作 1 (ヘッド位置)
7. 印字濃度	A	A
8. 印字濃度レベル	濃度 5 濃い	濃度 5 濃い
9. センサ種	反射センサタイプ: アイマーク	反射センサタイプ: アイマーク
10. ゼロスラッシュ	無効	無効
11. 漢字コード	JIS コード	JIS コード
12. 用紙仕様	のり付ラベル	のり付ラベル
13. 初期フィード	無効	無効
14. プロポーショナルピッチ	固定ピッチ指定	固定ピッチ指定
15. 縦用紙サイズ	600. 0mm	400. 0mm
16. 横用紙サイズ	104. 0mm	104. 0mm
17. 縦印字基点補正	0 dot	0 dot
18. 横印字基点補正	0 dot	0 dot
19. 連続動作オフセット設定	0 dot	0 dot
20. ティアオフ動作オフセット設定	0 dot	0 dot
21. カッタ動作オフセット設定	0 dot	0 dot
22. ハクリ動作オフセット設定	0 dot	0 dot
23. ヘッドチェック指定	無し	無し
24. ヘッドチェック範囲指定	通常範囲	通常範囲
25. ブザー音	あり	あり
26. バッテリ動作モード指定	通常動作	通常動作
27. オプション動作待機時間	10 ms x 100 (1000ms)	10 ms x 100 (1000ms)

プリンタ設定ツール

3.4.2 プリンタ本体の LAN の設定を設定する場合

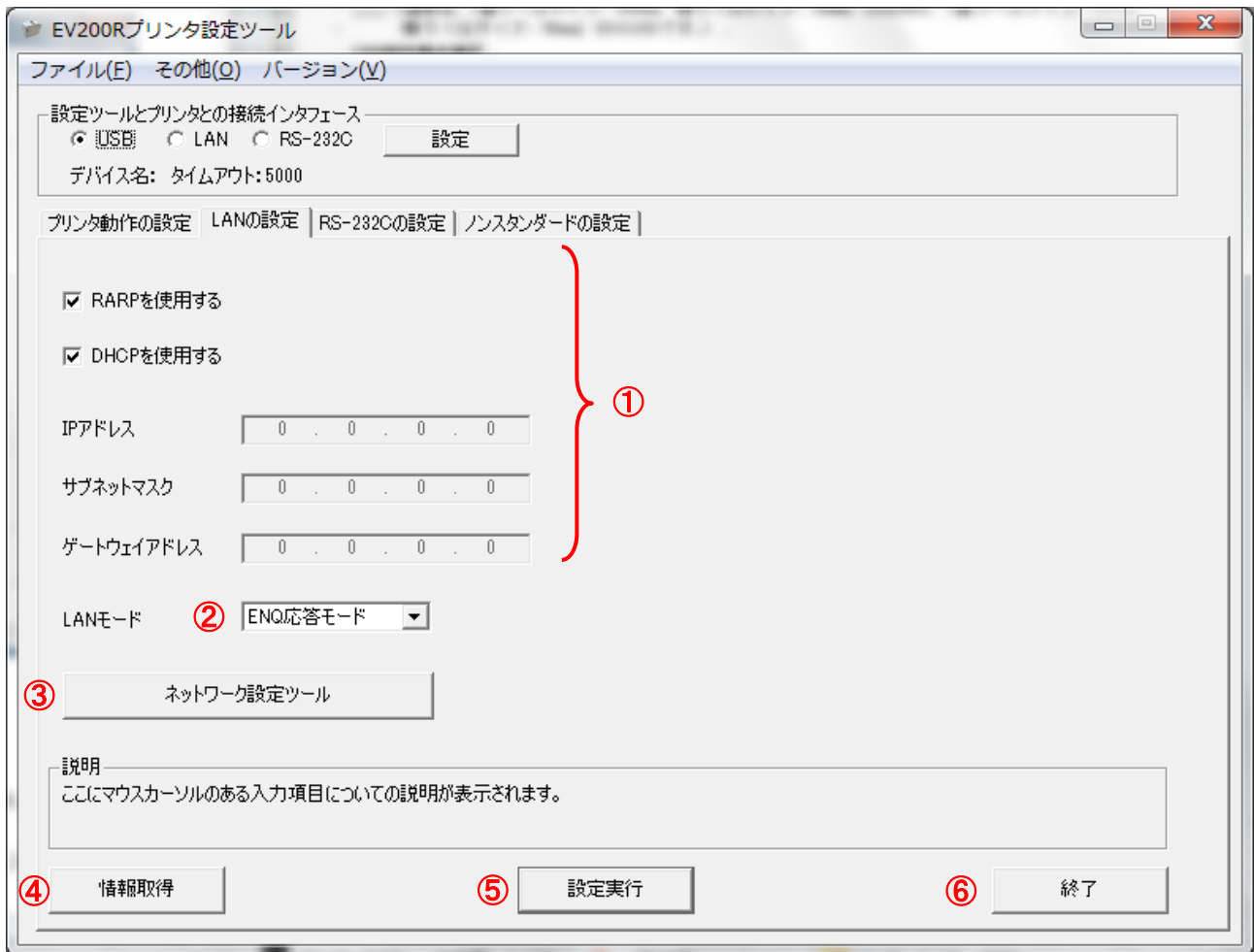


図 3.4.2 LAN の設定画面

- (1) 「LAN の設定」タブを開きます。
- (2) ④の「情報取得」をクリックし、現在プリンタに設定されている値を取得します。
- (3) ①の LAN の通信設定を選択、入力します。
- (4) ②の LAN モードにて通信プロトコルを選択します。プリンタドライバをご使用の場合は、「ENQ 応答モード」を設定してください。
- (5) ⑤の「設定実行」をクリックすることで、プリンタ本体に①、②の設定内容を設定します。
- (6) 表示されたメッセージに従いプリンタ本体の電源を OFF/ON します。
- (7) ④の「情報取得」をクリックし、プリンタに設定されている値を取得し、設定した設定内容と相違がないことを確認します。
- (8) ③の「ネットワーク設定ツール」をクリックすることでネットワーク設定ツールが起動されます。詳細は 3.9 章を参照してください。
- (9) プリンタ設定ツールを終了する場合は⑥の「終了」をクリックします。

プリンタ設定ツール

RARP を使用する

RARP を使用するか使用しないか設定します。RARP を使用する場合はチェックをして設定します。
範囲：チェックあり（RARP の使用）、チェックなし（RARP の未使用）

DHCP を使用する

DHCP を使用するか使用しないか設定します。DHCP を使用する場合はチェックをして設定します。
範囲：チェックあり（DHCP の使用）、チェックなし（DHCP の未使用）

IP アドレス

IP アドレスを設定します。

サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。

ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを設定します。

LAN モード

通信プロトコルを設定します。

範囲：

周期応答モード：2 ポート接続による、周期的にプリンタ状態ステータスを返送するモードです。

ENQ 応答モード：2 ポート接続による、ENQ (05H) を送信することでプリンタ状態ステータスを返送するモードです。

ステータス 3 モード：1 ポート接続による、「ENQ 応答モード」です。

※プリンタドライバを使用する場合、プリンタとプリンタドライバの設定を合わせる必要があります。プリンタドライバは初期値が「ENQ 応答モード」になっております。

表 3.4.2 LAN の設定初期値一覧表

項目	EV208R/212R
RARP を使用する	チェックあり
DHCP を使用する	チェックあり
IP アドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
LAN モード	ENQ 応答モード

プリンタ設定ツール

3.4.3 プリンタ本体の RS-232C の設定を設定する場合

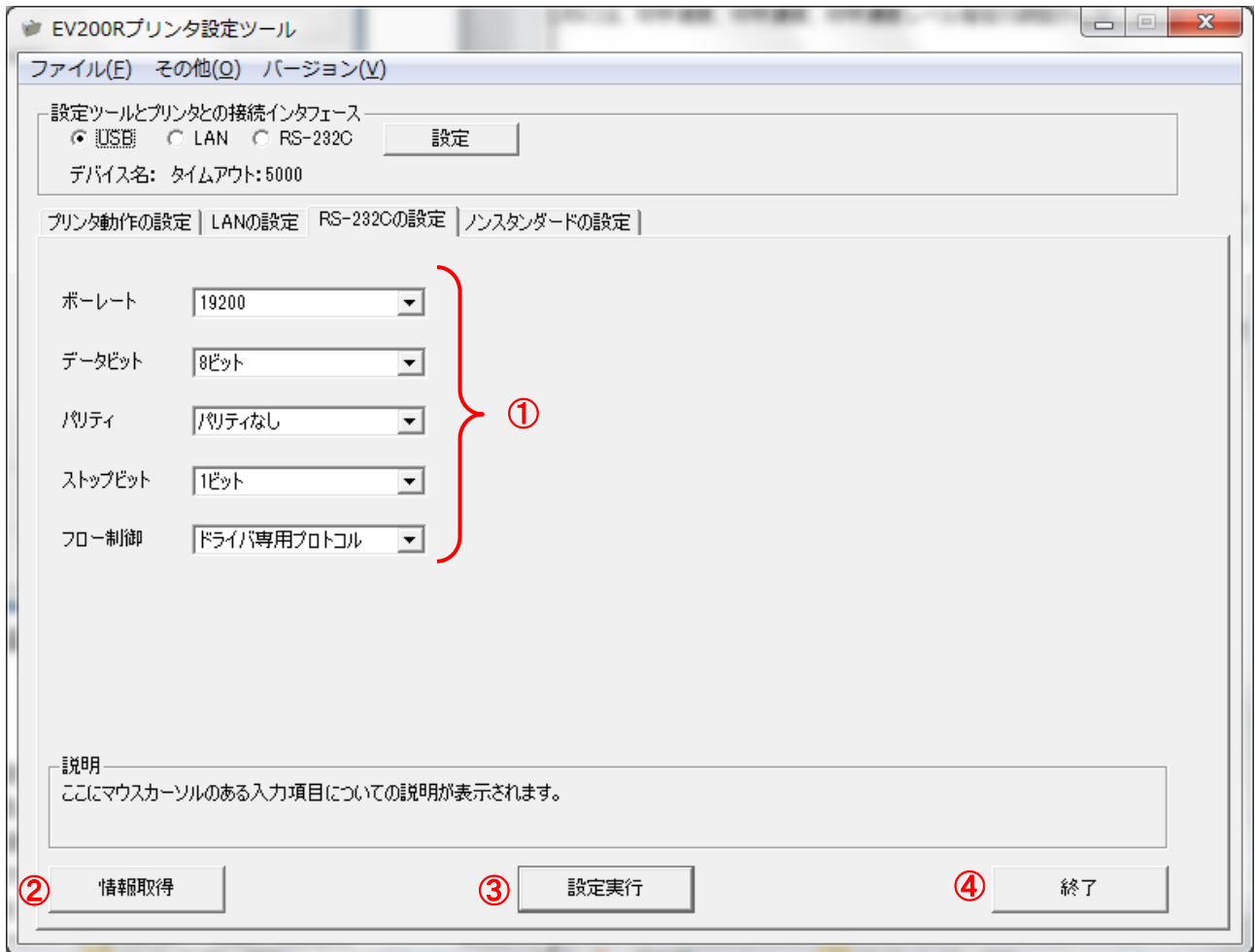


図 3.4.3 RS-232C の設定画面

- (1) 「RS-232C の設定」タブを開きます。
- (2) ②の「情報取得」をクリックし、現在プリンタに設定されている値を取得します。
- (3) ①の受信モードの「ボーレート」、「データビット」、「パリティ」、「ストップビット」、「フロー制御」を選択します。
- (4) ③の「設定実行」をクリックすることで、プリンタ本体に①の設定内容を設定します。
- (5) 表示されたメッセージに従いプリンタ本体の電源を OFF/ON します。
- (6) ②の「情報取得」をクリックし、プリンタに設定されている値を取得し、設定した設定内容と相違がないことを確認します。
- (7) プリンタ設定ツールを終了する場合は④の「終了」をクリックします。

プリンタ設定ツール

ボーレート

通信速度を設定します。

範囲：9600、19200、38400、57600、115200 (bps)

データビット

データビットを設定します。

範囲：8ビット、7ビット

パリティ

パリティを設定します。

範囲：パリティなし、奇数、偶数

ストップビット

ストップビットを設定します。

範囲：1ビット、2ビット

フロー制御

フロー制御を設定します

範囲：

ER 制御(1 アイテム受信)：ER 信号を制御します。1 アイテム (A~Z) 間毎に制御を行います。

ER 制御(マルチ受信)：ER 信号を制御します。バッファニアフルになるまで通信データを受信します。

Xon-Xoff 制御：XON/XOFF のコードを使用してデータ通信制御を行います。

ドライバ専用プロトコル：ステータス通信制御を行います。

ステータス 3：ステータス通信制御を行います。この制御方式は e シリーズのプリンタ制御方式と互換を持っています。

表 3.4.3 RS-232C の設定初期値一覧表

項目	EV208R/212R
ボーレート	19200
データビット	8 ビット
パリティ	パリティなし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	ドライバ専用プロトコル

プリンタ設定ツール

3.4.4 プリンタ本体のノンスタンダードの設定を設定する場合

※ 通常は設定する必要はありません。

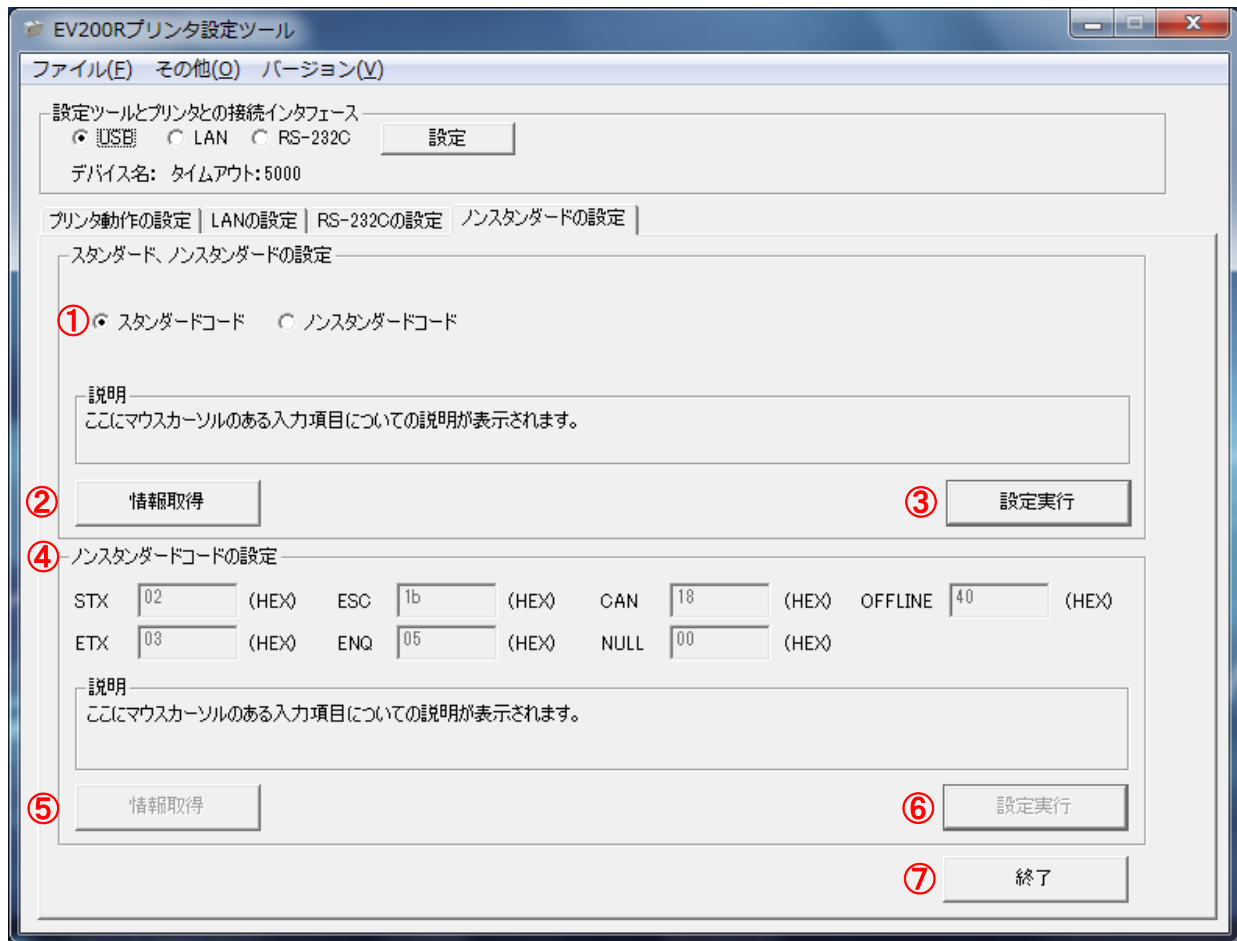


図 3.4.5 ノンスタンダードの設定画面

- (1) 「ノンスタンダードの設定」タブを開きます。
- (2) ②の「情報取得」をクリックし、現在プリンタに設定されている値を取得します。
- (3) ①の「スタンダードコード」、「ノンスタンダードコード」から選択します。
- (4) ②の「設定実行」をクリックすることで、プリンタ本体にスタンダードコードかノンスタンダードコードがモードの設定を設定します。スタンダードコードかノンスタンダードコードかモードを変更する場合のみ「設定実行」を行ってください。プリンタドライバを使用する場合は「スタンダードコード」を設定します。
- (5) 表示されたメッセージに従いプリンタ本体の電源を OFF/ON した後、「OK」をクリックします。
- (6) プリンタ本体が「ノンスタンダードコード」の場合、④の各制御コードに任意の文字コードを入力します。但し、各制御コード間での重複や SOH (01H) は設定することができません。
- (7) プリンタ本体が「ノンスタンダードコード」の場合、⑥の「設定実行」をクリックすることで、ノンスタンダードコードの各制御コードの設定を設定します。

プリンタ設定ツール

- (8) 表示されたメッセージに従いプリンタ本体の「FEED」ボタンを一度押してからプリンタ本体の電源を OFF/ON します。
- (9) プリンタ本体が「ノンスタンダードコード」の場合、⑤の「情報取得」をクリックし、プリンタに設定されている値を取得し、設定した設定内容と相違がないことを確認します。
- (10) プリンタ設定ツールを終了する場合は⑦の「終了」をクリックします。

スタンダードコード、ノンスタンダードコードの設定

スタンダードコードかノンスタンダードコードかモードを設定します。

範囲：スタンダードコード、ノンスタンダードコード

STX

STX の値を設定します。他の制御コードと重複した値や SOH (01H) は設定することができません。

範囲：00H～FFH (01H は除きます)

ETX

ETX の値を設定します。他の制御コードと重複した値や SOH (01H) は設定することができません。

範囲：00H～FFH (01H は除きます)

ESC

ESC の値を設定します。他の制御コードと重複した値や SOH (01H) は設定することができません。

範囲：00H～FFH (01H は除きます)

ENQ

ENQ の値を設定します。他の制御コードと重複した値や SOH (01H) は設定することができません。

範囲：00H～FFH (01H は除きます)

CAN

CAN の値を設定します。他の制御コードと重複した値や SOH (01H) は設定することができません。

範囲：00H～FFH (01H は除きます)

NULL

NULL の値を設定します。他の制御コードと重複した値や SOH (01H) は設定することができません。

範囲：00H～FFH (01H は除きます)

OFFLINE

OFFLINE の値を設定します。他の制御コードと重複した値や SOH (01H) は設定することができません。

範囲：00H～FFH (01H は除きます)

表 3.4.5 ノンスタンダードの設定初期値一覧表

項目	EV208R/212R	
	スタンダードコード	ノンスタンダードコード
STX	02H	7bH
ETX	03H	7dH
ESC	1bH	5eH
ENQ	05H	40H
CAN	18H	21H
NULL	00H	7eH
OFFLINE	40H	5dH

プリンタ設定ツール

3.5 設定ファイルを開きプリンタ設定ツールへ読み込む場合



図 3.5.1 設定ファイルを開く画面

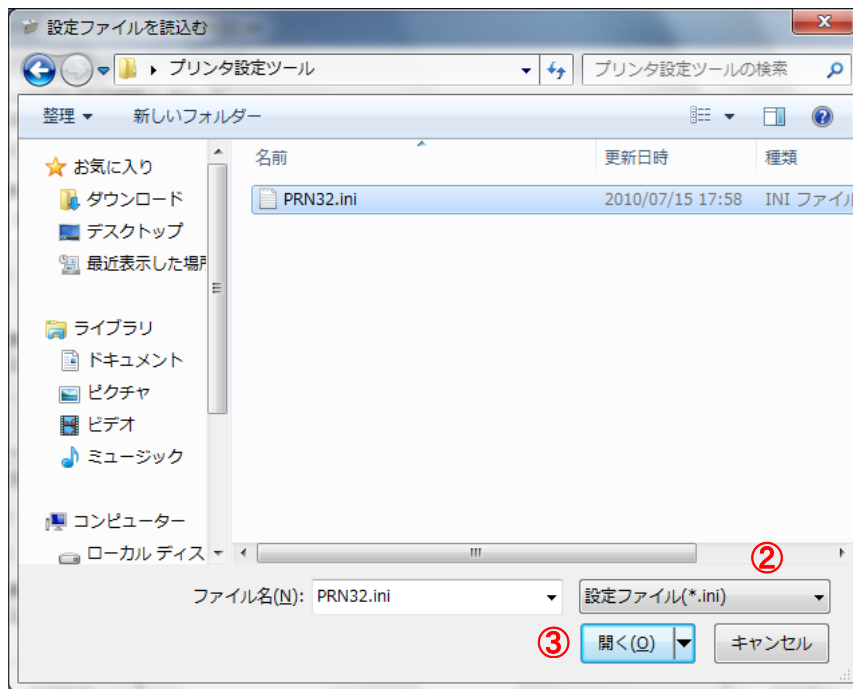


図 3.5.2 設定ファイルを開く画面

- (1) ①のメニューの「開く」をクリックします。
- (2) プリンタ設定ツールの設定ファイルを開く場合は②から「設定ファイル(*.ini)」を選択し、設定ファイルを選択します。
- (3) ③の「開く」をクリックして設定ファイルを読み込みます。古いプリンタ設定ツールで保存された設定ファイルを読み込んだ場合は「プリンタ動作の設定」タブのみ設定値が反映されます。
- (4) 設定ファイルの読み込みを中止する場合は④の「キャンセル」をクリックします。

プリンタ設定ツール

3.6 プリンタ設定ツールの設定をファイルへ保存する場合



図 3.6.1 設定ファイルに保存する画面

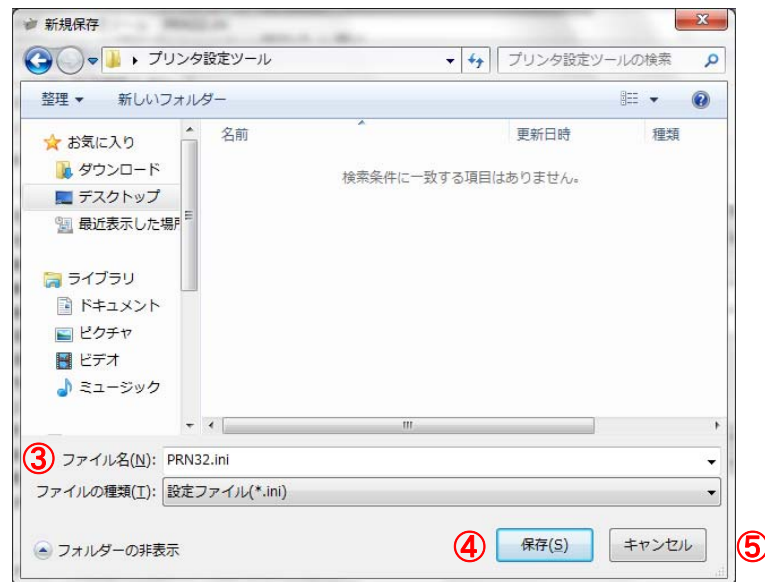


図 3.6.2 新規保存画面

3.6.1 上書き保存の場合

- (1) メニューの①「上書き保存」をクリックします。予め設定ファイルを開き、読込んでおく必要があります。設定ファイルを読込んでいない場合は「名前をつけて保存」と同じ動作になります。

3.6.2 名前をつけて保存の場合

- (1) メニューの②「名前をつけて保存」をクリックします。
- (2) 設定ファイルを保存する場所を選択した後、③の「ファイル名」に設定ファイルの名前を入力します。
- (3) ④の「保存」をクリックして設定ファイルを保存します。
- (4) 設定ファイルの「名前をつけて保存」を中止する場合は⑤の「キャンセル」をクリックします。

プリンタ設定ツール

3.7 プリンタ設定ツールとプリンタファームウェアバージョンの表示を行う場合

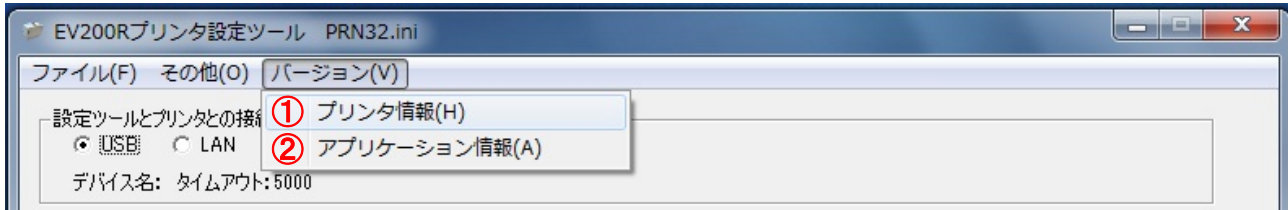


図 3.7.1 バージョン画面

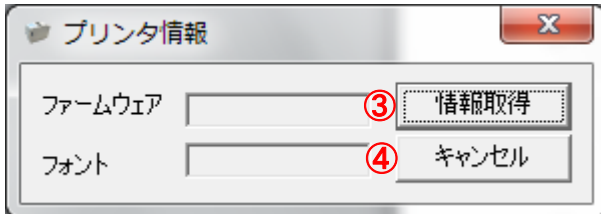


図 3.7.2 プリンタ情報画面

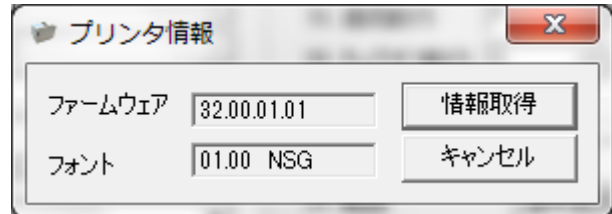


図 3.7.3 バージョン表示画面



図 3.7.4 アプリケーション情報画面

3.7.1 プリンタのファームウェアバージョンを表示する場合

- (1) ①のメニューの「プリンタ情報」をクリックします。
- (2) ③の「情報取得」をクリックすることでプリンタのファームウェアバージョンを取得し、表示します。予め通信設定を行っておく必要があります。詳細は 3.3 章を参照してください。
- (3) 画面を閉じる場合は④の「キャンセル」をクリックします。

3.7.2 プリンタ設定ツールのバージョンを表示する場合

- (1) ②のメニューの「アプリケーション情報」をクリックします。
- (2) 画面を閉じる場合は⑤の「キャンセル」をクリックします。

プリンタ設定ツール

3.8 プリンタファームウェアのダウンロードを行う場合

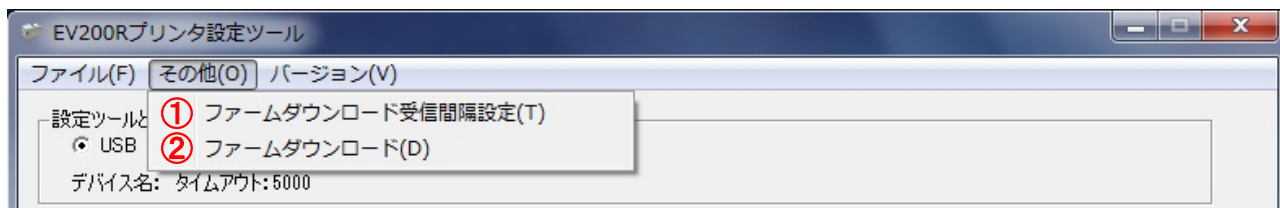


図 3.8.1 その他画面

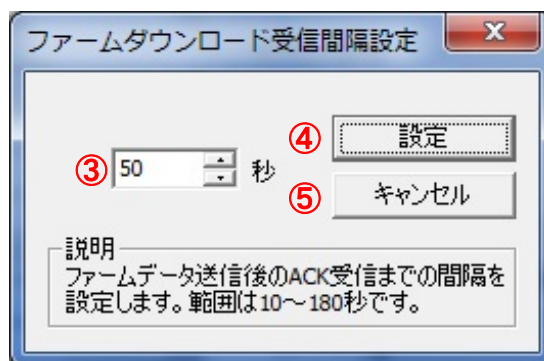


図 3.8.2 ファームダウンロード受信間隔設定

3.8.1 ファームダウンロード受信間隔設定を行う場合

- (1) ①のメニューの「ファームダウンロード受信間隔設定」をクリックします。
- (2) ③にてファームデータ送信後に受け取る ACK 受信までの間隔を入力し、④の「設定」をクリックします。通常は変更する必要ありません。
- (3) 設定した内容をプリンタ設定ツールに反映させないときは⑤の「キャンセル」をクリックしてください。

プリンタ設定ツール

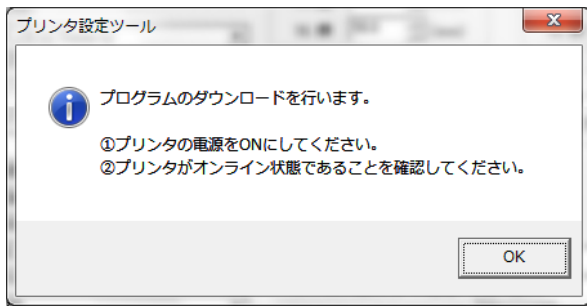


図 3.8.3 ダウンロード移行画面

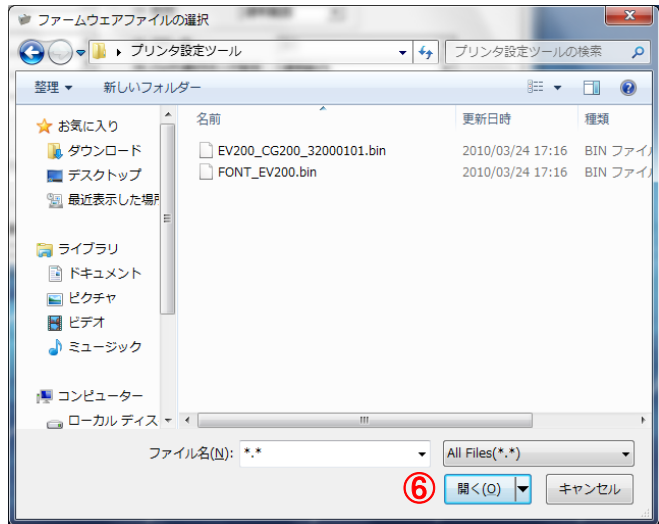


図 3.8.4 ファイル選択画面

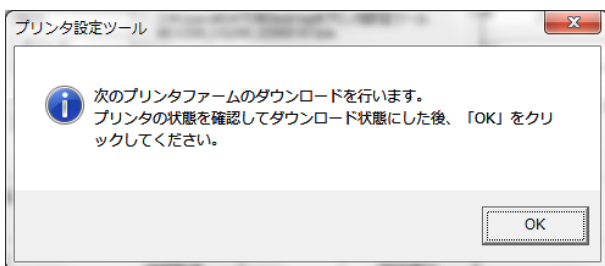


図 3.8.5 複数ダウンロード画面

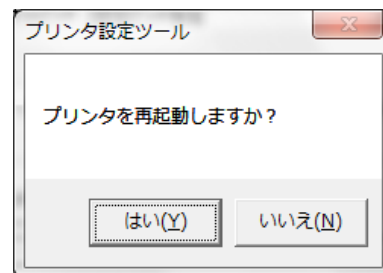


図 3.8.6 再起動確認画面

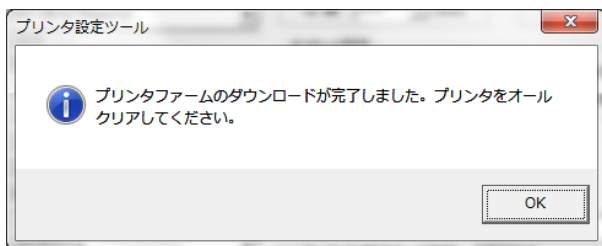


図 3.8.7 ダウンロード完了画面

3.8.2 ファームダウンロードを行う場合

- (1) ②のメニューの「ファームダウンロード」をクリックします。
- (2) 図 3.8.3 のメッセージに従い、プリンタをダウンロードモードへ移行させます。
- (3) ファームウェアファイルを選択して、⑥の「開く」をクリックします。この際、複数のファームウェアファイルを選択することも可能です。
- (4) 複数のファームウェアファイルを選択しダウンロードが完了した場合に次にダウンロードを行うファームウェアファイルがある場合、図 3.8.5 が表示されますのでメッセージに従ってください。
- (5) すべてのファームウェアファイルのダウンロードが完了すると図 3.8.6 が表示されます。メッセージに従い、プリンタを再起動してください。
- (6) 再起動が完了すると図 3.8.7 が表示されます。メッセージに従い、プリンタを初期化してください。

プリンタ設定ツール

3.9 ネットワーク設定ツールから LAN の設定を行う場合

3.9.1 LAN の設定を行う場合

① ネットワーク設定ツールを起動すると、図 3.9.1.1 に示す画面が表示されます。

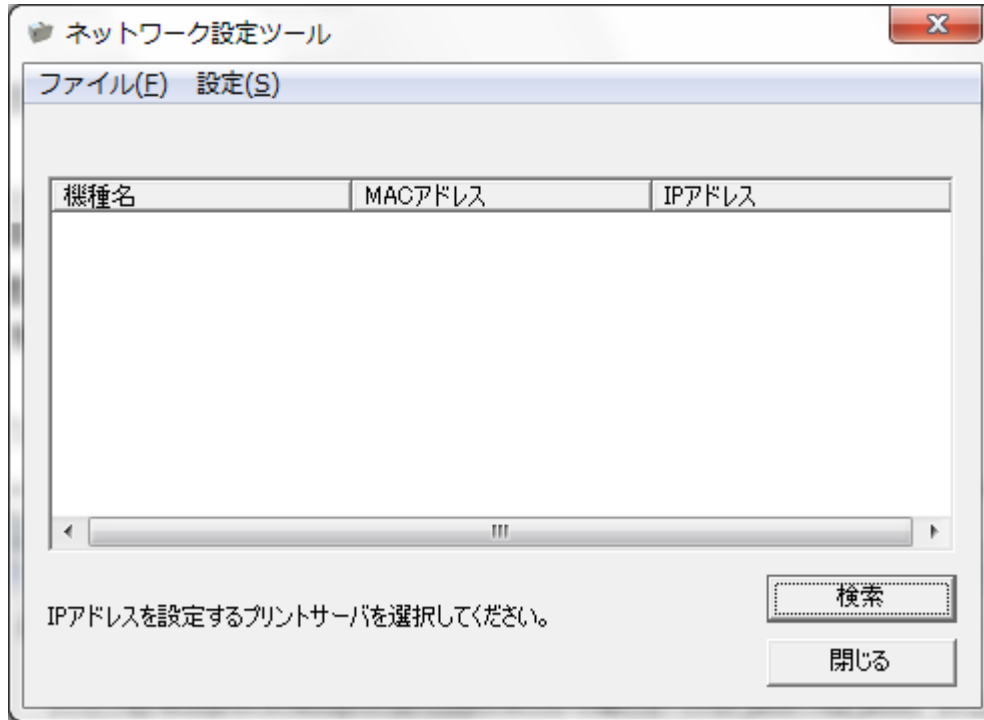


図 3.9.1.1 ネットワーク設定ツール起動画面

② 設定を行うプリンタの電源を ON にしてください。

LAN の検索で、LAN 接続されているレスプリVシリーズ、エヴィシリーズ LAN ポート（以下、LAN ポート）、レスプリVシリーズ、エヴィシリーズ以外の LAN ボード（以下、LAN ボード）を確認することが出来ます。

あらかじめ、ネットワーク設定ツールを実行するパソコンと、LANポートまたはLANボードを搭載したプリンタをHUBで物理的に接続し、「ファイル(F)」-「LANの検索(S)」もしくは、「検索」をクリックしてください。

タイミングにより検索できないことがありますので検索を数回、実行してください。

検索後、図3.9.1.3の画面のように機種名、MACアドレス、IP アドレスが表示されます。

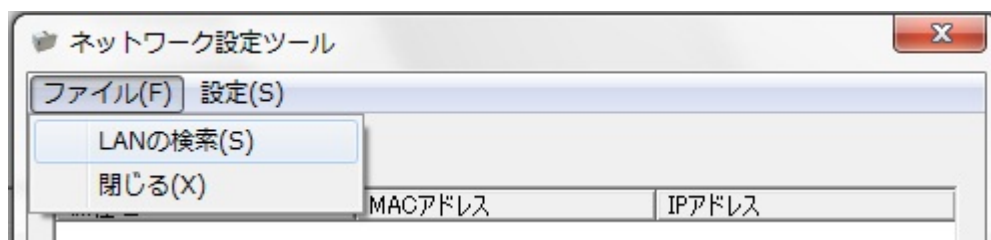


図 3.9.1.2 ファイルメニュー画面

プリンタ設定ツール

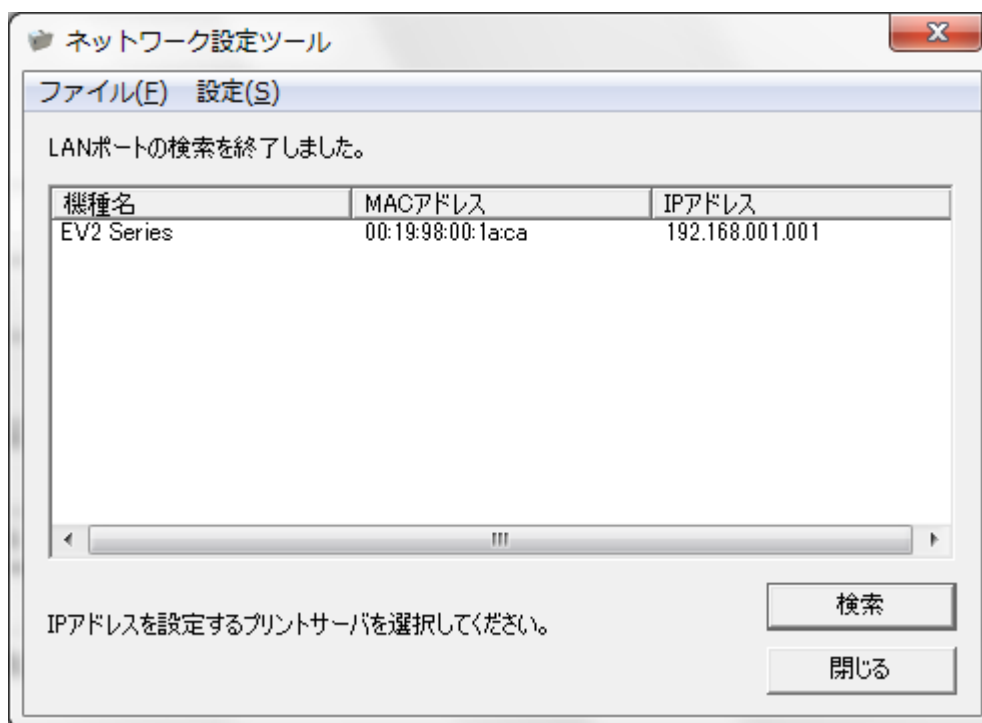


図 3.9.1.3 LAN 検索結果

③LAN の検索を実施した場合に表示される機種名は、以下の通りとなります。

表 3.9.1.1 検索機種一覧表

機種名	表示される機種名
HA200R シリーズ	HA200R Series
GN412T	GN412T
レスプリVシリーズ	Lesprit Series
エヴィシリーズ	EV2 Series
FI212T	FI Series
SG600R シリーズ	SG6 Series
SG112 シリーズ	SG112 Series

プリンタ設定ツール

④設定を行うプリンタ「EV2 Series」を選択します。

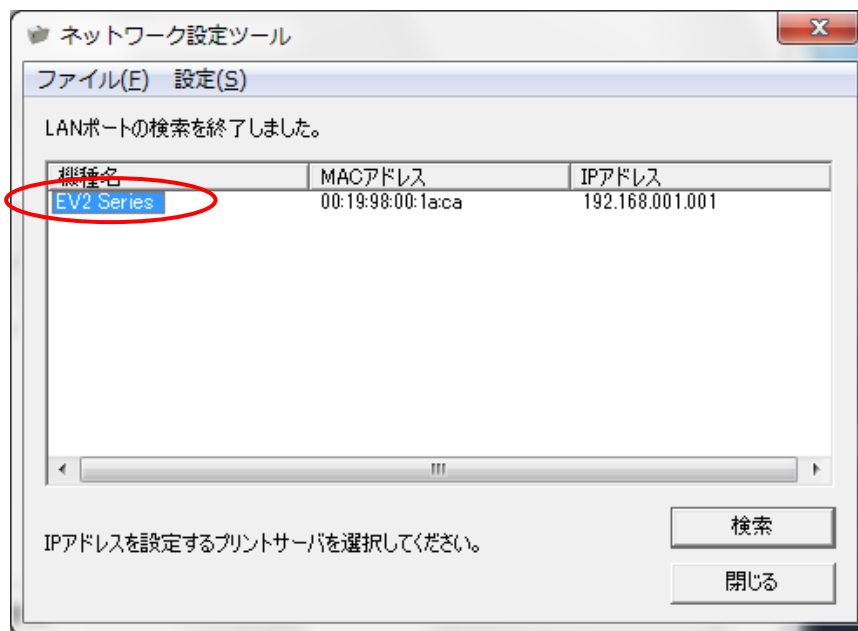


図 3.9.1.4 プリンター一覧画面

⑤設定メニューで「LAN の設定」を選択します。



図 3.9.1.5 設定メニュー画面

プリンタ設定ツール

- ⑥変更する項目を入力してください。
各項目の内容を表 3.9.1.1 に示します。



図 3.9.1.6 LAN ポート設定画面

表 3.9.1.1 設定項目一覧表

項番	項目	内容
①	RARP の設定	RARP を使用するかを設定します
②	DHCP の設定	DHCP で IP アドレスを自動割り付けするかを設定します
③	IP アドレス	IP アドレスを手動で設定する場合に設定します
④	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します
⑤	ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを設定します
⑥	root パスワード設定ボタン	root のパスワードを設定する場合にクリックします
⑦	初期化ボタン	クリックすることにより LAN ポートを初期設定に戻します
⑧	設定実行ボタン	LAN ポートの設定内容を確認します
⑨	キャンセルボタン	LNA ポートの設定画面を閉じます

【 注意事項 】

1. RARP を使用する場合には、IP アドレス設定はマスクされます。
2. DHCP を使用する場合には、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスはマスクされます。

プリンタ設定ツール

⑦入力後「OK」をクリックしてください。

図 3.9.1.7 の画面を表示後、プリンタを再起動してください。

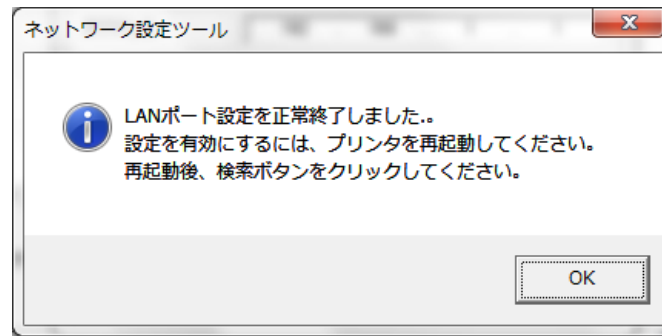


図 3.9.1.7 LAN ポート設定完了画面

【 注意事項 】

1. 図 3.9.1.8 のメッセージボックスが表示された場合は、プリンタの電源が切られているか、LAN ケーブルが抜けていることが考えられますので、電源 ON とケーブル接続の確認をしてください。

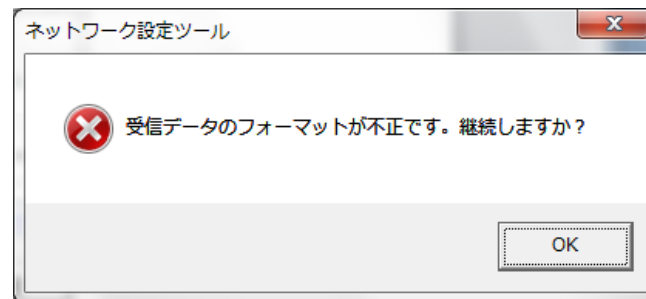


図 3.9.1.8 受信データエラー画面

プリンタ設定ツール

3.9.2 LAN ボード初期化

①3.9.2.1の画面で、「初期化」をクリックします。

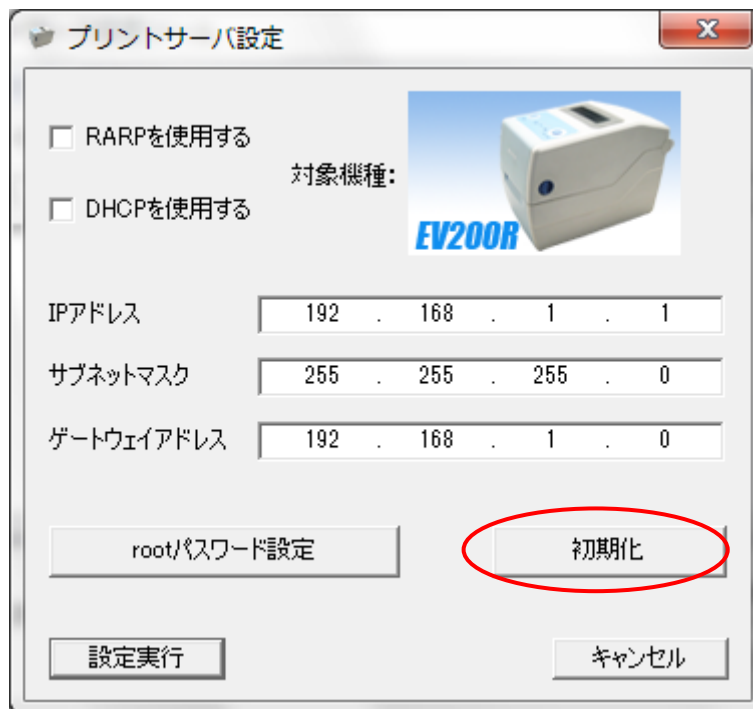


図 3.9.2.1 LAN ポート設定画面

②3.9.2.2のメッセージボックスを表示しますので、「はい(Y)」をクリックします。

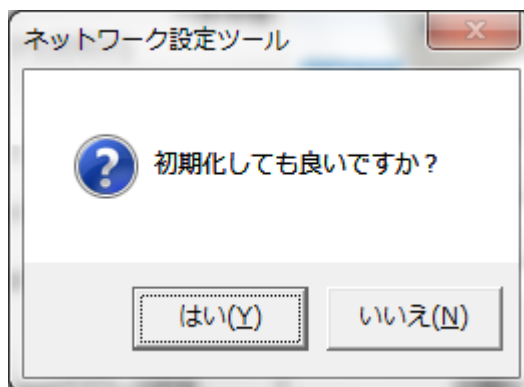


図 3.9.2.2 初期化確認画面

プリンタ設定ツール

③3.9.2.3 のメッセージボックスを表示後、プリンタを再起動してください。

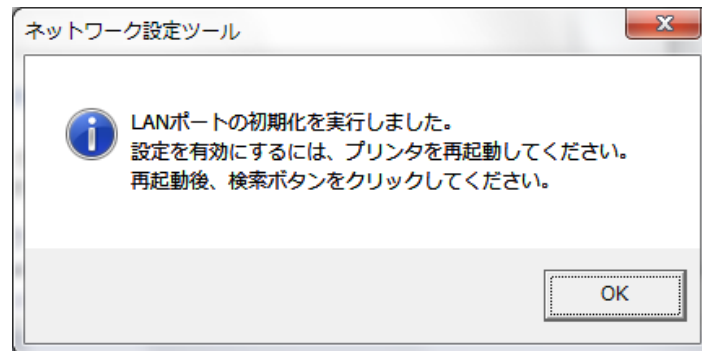


図 3.9.2.3 初期化成功時のメッセージボックス画面

【 注意事項 】

1. 図 3.9.2.4 のメッセージボックスが表示された場合は、プリンタの電源が切られているか、LAN ケーブルが抜けていることが考えられますので、電源 ON とケーブル接続の確認をしてください。

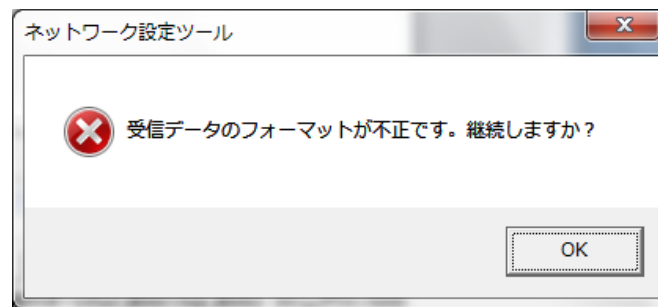


図 3.9.2.4 受信データエラー画面

プリンタ設定ツール

3.9.3 root パスワード設定

①図 3.9.3.1 の画面で、「root パスワード設定」をクリックします。

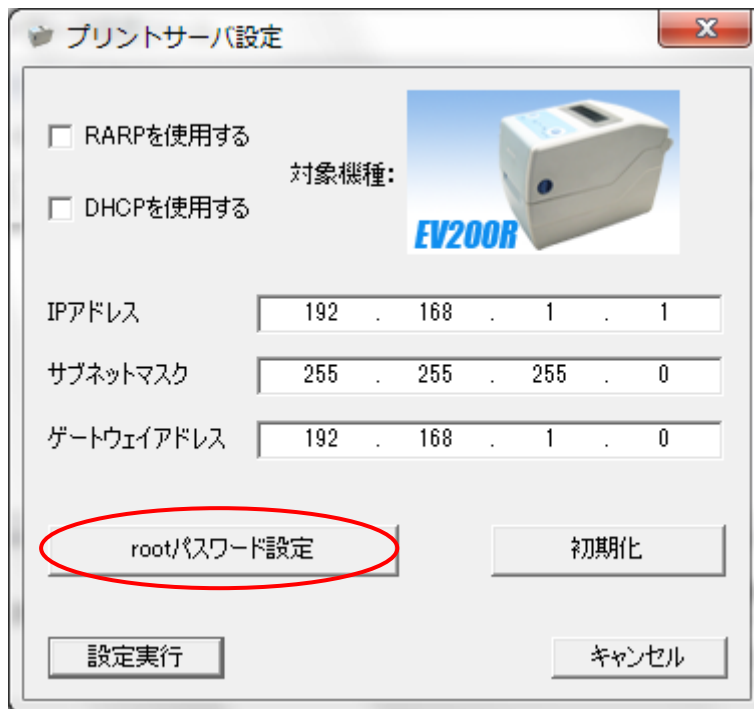


図 3.9.3.1 LAN ポート設定画面

②図 3.9.3.2 の画面で、古いパスワードと新しいパスワードを入力します。

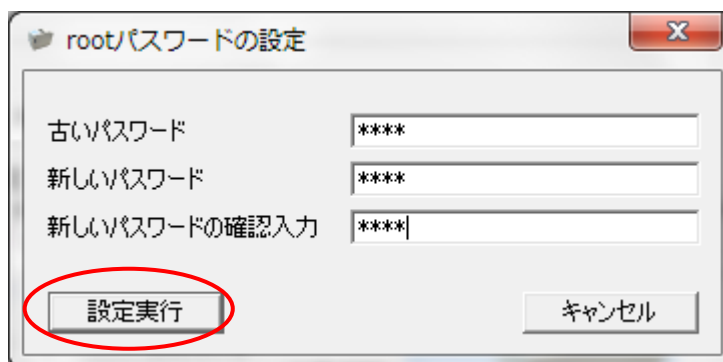


図 3.9.3.2 root パスワードの設定画面

プリンタ設定ツール

- ③ 「OK」 をクリックすると、図 3.9.3.3 のパスワード変更完了ダイアログが表示されます。プリンタを再起動してください。

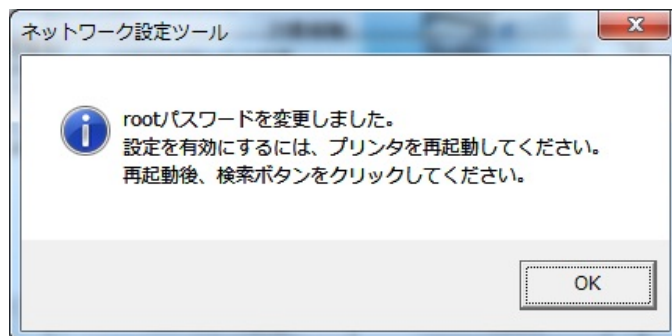


図 3.9.3.3 パスワード変更完了メッセージボックス画面

【 注意事項 】

1. パスワード変更時に、古いパスワードが誤っている場合、図 3.9.3.4 のメッセージボックスが表示されます。
2. 図 3.9.3.5 のメッセージボックスが表示された場合は、プリンタの電源が切られているか、LAN ケーブルが抜けていることが考えられますので、電源 ON とケーブル接続の確認をしてください。

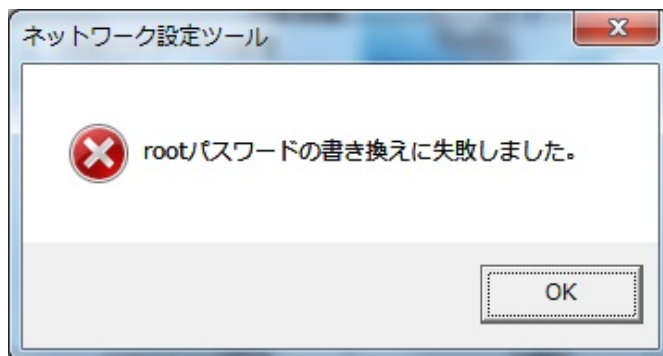


図 3.9.3.4 パスワード書き換え失敗時のメッセージボックス画面

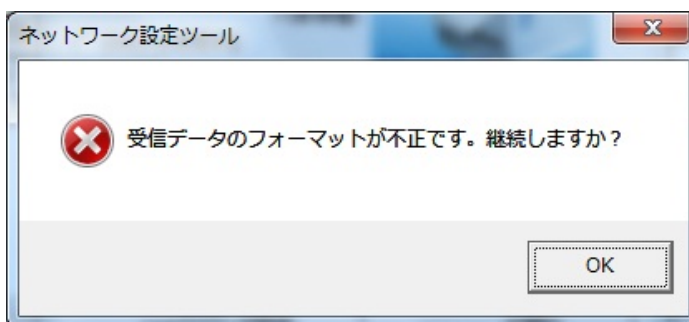


図 3.9.3.5 受信データエラー画面

プリンタ設定ツール

3.9.4 LAN の複数同時設定

- ① 「設定 (S)」メニューから、「LAN の複数同時設定 (D)」を選択します。

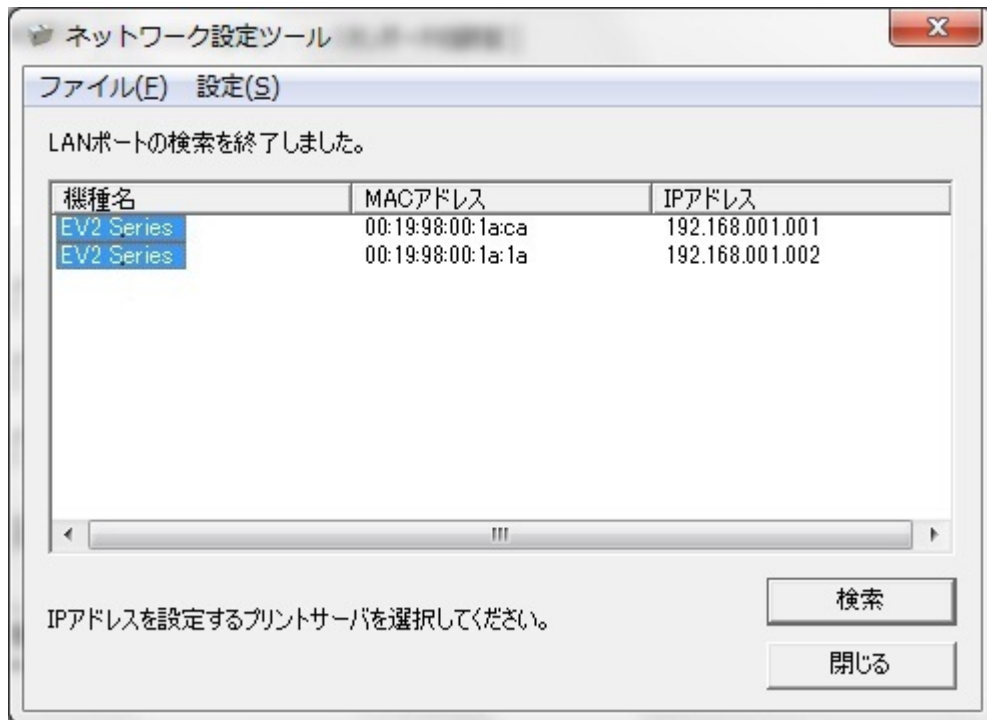


図 3.9.4.1 プリンター一覧画面

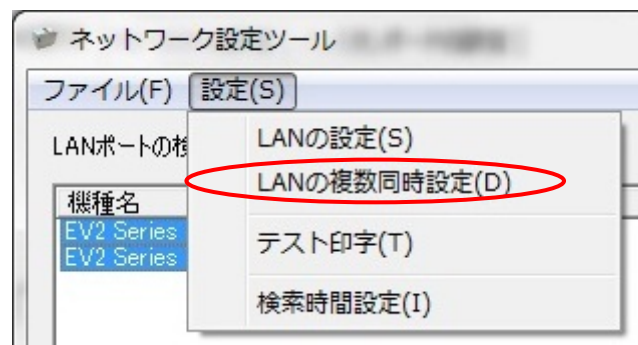


図 3.9.4.2 設定メニュー画面

プリンタ設定ツール

②図 3.9.4.3 の複数同時設定画面を表示しますので、同時設定を行う数と選択したプリンタの先頭の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。

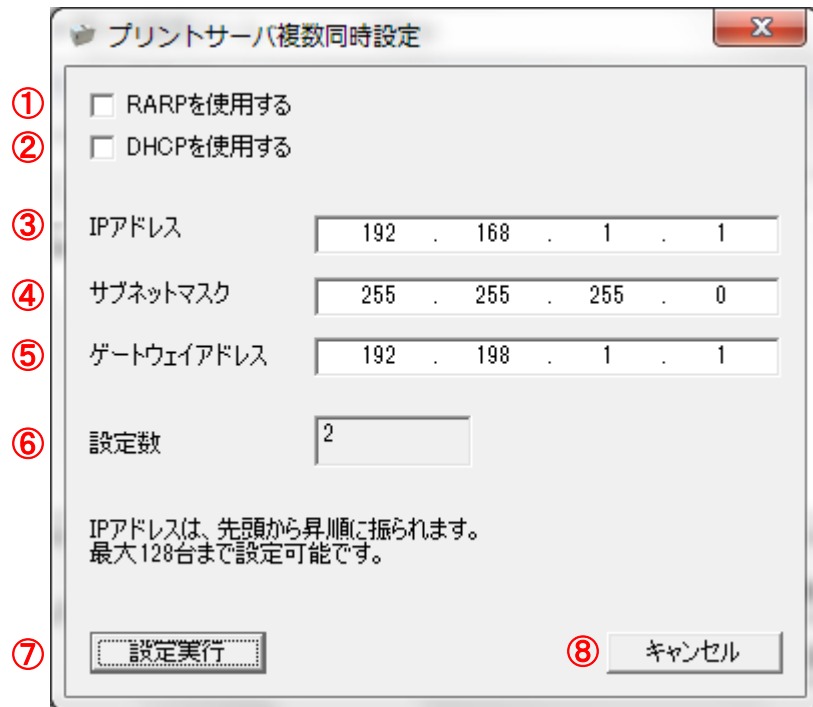


図 3.9.4.3 LAN ポート複数同時設定画面

表 3.9.4.1 に設定項目一覧を示します。

表 3.9.4.1 設定項目一覧表

項番	項目	内容
①	RARP の設定	RARP を使用するかを設定します
②	DHCP の設定	DHCP で IP アドレスを自動割り付けするかを設定します
③	IP アドレス	IP アドレスを手動で設定する場合に設定します ※複数台設定する場合には、2 台目以降 IP アドレスが+1 された値の設定を行います
④	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します
⑤	ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを設定します
⑥	設定数	同時に何台設定するかを表示します
⑦	設定実行ボタン	LAN ポートの設定内容を確認します
⑧	キャンセルボタン	LAN ポートの設定画面を閉じます

プリンタ設定ツール

③入力後「OK」をクリックしてください。

図 3.9.4.4 の画面を表示後、プリンタを再起動してください。

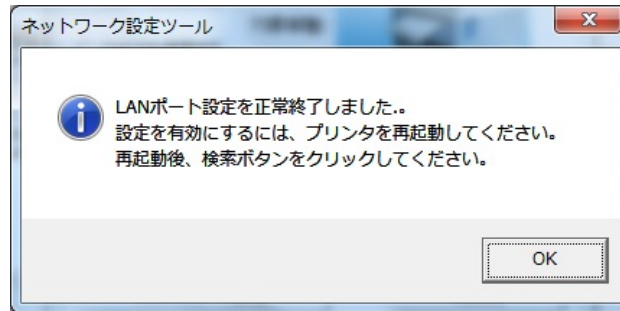


図 3.9.4.4 LAN ポート設定完了画面

【 注意事項 】

1. 図 3.9.4.5 のメッセージボックスが表示された場合は、プリンタの電源が切られているか、LAN ケーブルが抜けていることが考えられますので、電源 ON とケーブル接続の確認をしてください。

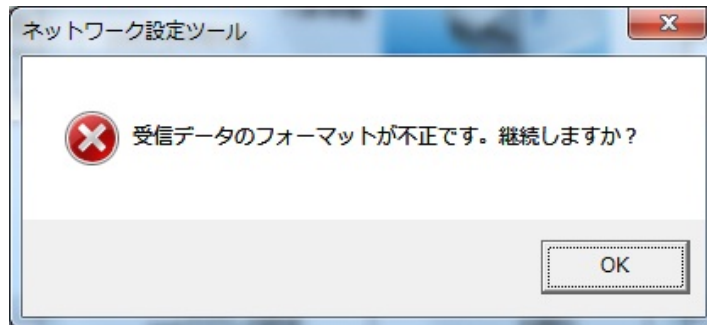


図 3.9.4.5 受信データエラー画面

プリンタ設定ツール

3.9.5 テスト印字

- ① 「設定(S)」メニューの「テスト印字(T)」を選択します。



図 3.9.5.1 設定メニュー画面

- ② プリンタから LAN ポートのテスト印字が実行されることを確認してください。

プリンタ設定ツール

3.9.6 検索時間設定

- ① 「設定(S)」メニューから、「検索時間設定(I)」を選択します。

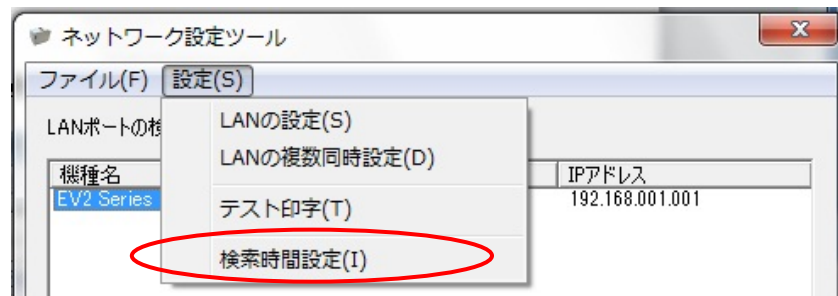


図 3.9.6.1 設定メニュー画面

- ② 受信応答の検索時間を設定します。

初期値は 5 秒で、1~30 秒の範囲で設定可能です。

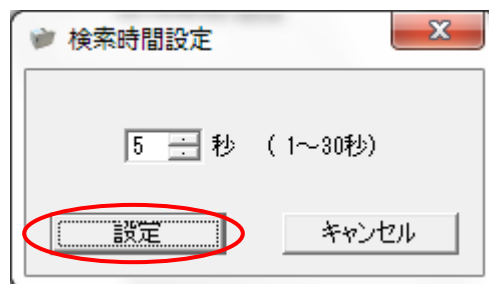


図 3.9.6.2 検索時間設定画面

- ③ 設定が完了後、「設定」ボタンをクリックすると、アプリケーションに検索時間が反映されます。

4 注意事項

- プリンタ設定ツールは管理者権限のあるユーザーでご使用ください。
- 本ツールは Windows2000 非対応となります。Windows2000 をご使用の場合は以前のバージョンのプリンタドライバ、およびプリンタ設定ツールをご使用ください。
- プリンタ本体のインターフェースが LAN で通信プロトコルが「周期応答モード」の場合に情報取得を行う場合、タイミングによっては情報取得に失敗することがあります。本設定ツールを使う場合には、プリンタ本体の設定を「ステータス 3」もしくは、「ENQ 応答モード」にしてご使用ください。